

全国相互利用を ウィルジー開始

アクトス

バローホールディングスの子会社でスポーツクラブを展開するアクトス(本部・可児市、清水俊宏社長)は、低料金で人気のスポーツクラブ「アクトスウィーG(ウィルジー)」の全国相互利用サービスを1日から始める。ウィルジー会員は、追加費用の支払いや手続きをすることなく、登録店舗以外のウィルジー店舗を利用できる。

ウィルジーは、月会費2700円(税抜き)の低価格が特徴。最新マシンを備える一方、シャワーなどの設備を置かずにコストを抑える。ウィルジーの店舗は現在、30都道府県で131店舗を展開している。

担当者は「最寄りの店舗が変わった場合や出張先、単身赴任先で利用したいという声に応え、利用者を増やしたい」と話している。